



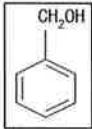
製品安全データシート
ベンジルアルコール
(BENZYL ALCOHOL)

作成日 : 2007年4月1日

整理番号: S0701

改訂日 : 2011年10月5日

1 化学物質及び会社情報		
・商品名	ベンジルアルコール(Benzyl alcohol)	
・化学名	ベンジルアルコール(Benzyl alcohol)	
・製造者	INEOS Chlor Vinyls Belgium NV.	
・住所(本社)	Heiling Hartlaan 21 BE-3980 Tessenderlo Belgium	
	電話: +32 (0) 13612300	FAX: +32(0)13668406
・販売代理店	サンケミカル株式会社	
・住所	東京都中央区日本橋小伝馬町2-4三報ビル8F	
	電話: 03-3661-6681	FAX: 03-3661-7055
	E-mail : f-hagino@sun-chemical.co.jp	
・用途及び使用上の制限	エポキシ樹脂・塗料材料溶剤、化学反応溶媒、ワックス剥離剤、	
・CAS番号	100-51-6	
・EINECS番号	202-859-9	
・化審法番号	(3)-1011	
・安衛法番号	公表物質	
・分類	—	
2 危険有害性の要約		
GHS分類		
物理化学的危険性	・火薬類	分類対象外
	・可燃性/引火性ガス	分類対象外
	・可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
	・支燃性/酸化性ガス	分類対象外
	・高压ガス	分類対象外
	・引火性液体	区分外
	・可燃性固体	分類対象外
	・自己反応性化学品	分類対象外
	・自然発火性液体	分類できない
	・自然発火性固体	分類対象外
	・自己発熱性化学品	分類できない
	・水反応性化学品	分類対象外
	・酸化性液体	分類対象外
	・酸化性固体	分類対象外
	・有機過酸化物	分類対象外
	・金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	・急性毒性(皮膚)	区分4
	・急性毒性(経口)	区分4
	・急性毒性(吸入ガス)	分類対象外
	・急性毒性(吸入蒸気)	区分3 (JIS分類で区分3。GHSでは非該当)
	・急性毒性(吸入粉塵、ミスト)	分類できない

	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚腐食性/刺激性 区分外 ・眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 区分2 ・呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない ・生殖細胞変異原性 区分外 ・発ガン性 区分外 ・生殖毒性 分類できない ・標的臓器・全身毒性(単回暴露) 分類できない ・標的臓器・全身毒性(反復暴露) 分類できない ・吸引性呼吸器有害性 分類できない
環境に対する有害性	<ul style="list-style-type: none"> ・水生環境急性毒性 区分外 ・水生環境慢性毒性 区分外
ラベル要素	
絵表示及びシンボル	<ul style="list-style-type: none"> ・健康有害性   <p>(なお、右マークはJIS分類基準での該当。 GHS分類では非該当)</p>
注意喚起語	・危険
危険有害性情報	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み込んだり、皮膚に接触したり、吸入したりすると有害である。 ・眼に入ると強い刺激性がある。 ・消防法上の危険物である。
注意書き	<p>「安全対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品を使用する時に飲食喫煙をしないこと。 ・炎、高温物から遠ざけること。 ・保護手袋、保護眼鏡、耐化学薬品性マスク着用のこと。 ・取扱い後は、よく手を洗う。 <p>「救急措置」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災の場合は、適切な消火剤を使用する。 ・漏出した場合は製品をポンプにて吸い上げる。砂、土等の吸着剤で吸着させ多量の水で洗い流す。多量の場合蒸留回収。少量の場合燃焼処理する。 ・吸入した場合は新鮮な場所に移動させる。 ・嚥下の場合は多量の水をのませる。 ・眼に入った場合は15分以上、水で洗う。 ・皮膚に付いた場合は十分な水で洗い流す。 <p>「保管」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暗所で換気の良い場所に保管する。 <p>「廃棄」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品を河川、下水等に流してはならない。 ・廃棄物は認可された廃棄物業者に委託する。
国・地域情報	・ -
3	組成・成分情報
化学名	・ベンジルアルコール
別名	・フェニルカルビノール、フェニルメタノール、 α -ヒドロキシトルエン、ベンタノール
化学式	・ C7H8O1
濃度及び濃度範囲	・ 単一化合物
	

4	応急措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ただちに十分な水で15分以上洗う。 ・中和剤を使用してはならない。 ・炎症が持続するようなら、医師の診察を受ける。 <p>皮膚に付いた場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水又は石鹸水で洗う。 ・洗う前に汚染した衣服は脱ぐ。 ・炎症が持続するようなら、医師の診察を受ける。 <p>吸入した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な空気のところへ移動させる。 ・適切な気道、呼吸を確保する(意識の無い場合) ・呼吸困難な場合は医師の診察を受ける。 <p>嚥下した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吐かせてはいけない。 ・意識の無い場合、水を与えてはならない。 ・吐いたあとはただちに水を与える。 ・悪寒がする場合、医師の診察を受ける。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、医師の診察を受ける。
5	<p>火災時の措置</p> <p>製品の燃焼性</p> <p>自然発火温度</p> <p>引火温度</p> <p>燃焼時生成物</p> <p>発火源</p> <p>爆発源</p> <p>消火法</p> <p>消火をする者の保護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引火点(101℃)以上では可燃性である。 ・436℃ ・93℃ ・炭酸ガス、一酸化炭素 ・熱、炎 ・機械的衝撃での爆発危険性は不明。 ・静電気による爆発危険性は不明。 ・高熱下での爆発危険性あり。 ・耐アルコール性泡、水散布、AFFF泡 ・水塊での放水は効果がない。 ・圧搾空気送気装置付き消火服
6	<p>漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>小漏出</p> <p>大漏出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護具(手袋、眼鏡、マスク)を必ず着用する。 ・ドレイン、河川等に廃棄してはならない。 ・流出物はリサイクルするか、公認の廃棄物業者に処理を委託する。 ・不活性吸着剤(土、砂等)で吸着させ、適当な清掃具で掃き集め密閉容器に保管する。汚染された表面は水で洗い流す。 ・流出口を塞ぎ、流出物をポンプで吸い上げる。製品の供給を止める。流出物は排水溝、下水、地下室等に流入させてはならない。
7	<p>取扱い・保管上の注意</p> <p>取扱い:</p> <p>技術的対策</p> <p>局所排気・全体換気</p> <p>安全取扱い注意事項</p> <p>接触回避</p> <p>保管:</p> <p>技術的対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第8章「 暴露防止及び保護措置 」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 ・第8章「 暴露防止及び保護措置 」に記載の局所排気、全体換気を行う。 ・アースされた設備で取り扱う。 ・接触、吸入、嚥下をしないこと。 ・取扱い後よく手を洗う。 ・第10章「 安定性及び反応性 」を参照。 ・保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、梁を不燃材とする。 ・保管場所は屋根を不燃材とし、天井を設けない。 ・床は適度の斜度を設け柵を設置する。

<p>混触危険物質 保管条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第10章「安定性及び反応性」を参照。 ・保管容器はしっかりと口金を締める。 ・冷暗所、かつ乾燥した場所で保管する。 ・床位置の換気に注意する。 ・可燃性物質を近くに置かない。
<p>8 曝露防止と保護措置</p> <p>管理濃度 最大曝露限界値 設備対策</p> <p>保護具</p> <p>呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚の保護具 衛生対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・TLVは記載されていない。¹⁾ ・起算されていない。²⁾ ・防爆の電気、換気、照明機器を使用すること。 ・空気中の濃度を暴露限界以下に保つため排気用の換気を行うこと。 ・作業場の近くに洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ・耐ガス用マスク着用。大曝露時は自己呼吸型保護衣着用のこと。 ・耐薬性のゴム、樹脂手袋着用のこと。 ・顔面を覆う保護具を着用することが好ましい。 ・保護衣(耐薬品性)着用、長靴着用。 ・禁飲食、禁煙。洗眼器、シャワー室完備のこと。
<p>9 物理・化学的性質</p> <p>外観 臭気 pH 沸点 引火点 爆発限界 蒸気圧 比重 発火点 水溶解度 蒸気密度 分配係数 融点 溶解性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無色液体 (20°C) ・果実臭 ・該当しない ・205.3°C ・101°C ⁴⁾ ・1.3/30 Vol% (°C) ・0.13 hPa (20°C)、0.67 hPa (50°C) ・1.05 (20°C) ・436°C ・4 g/100ml ・3.7 (空気=1) ・log Pow : 1.10 (計算値) ・-15.3°C ・アルコール、エーテルと自由に混和
<p>10 安定性と反応性</p> <p>安定性 重合性 反応性 不安定発生要件 相反材料 火災時分解生成物</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の保管状態では安定であるが、吸湿性あり、空気に接触状態では不安定である。 ・なし。 ・酸化剤、酸、強アルカリ。 ・高温、可燃性物質、酸、金属(アルミニウム、鉄)、水蒸気 ・強酸化剤(激しく反応、火災、爆発の恐れあり)。 ・炭酸ガス、一酸化炭素。
<p>11 有害性情報</p> <p>急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:蒸気) 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性</p>	<p>ラットのLD50値=1610mg/kg(SIDS(2008))(Directive84/449/EECガイドラインに準拠)、1230mg/kg(PATY(5th,2001)),2080mg/kg(SIDS(2008)),3100mg/kg(PATY(5th,2001))のデータに基づき、EECガイドライン準拠、かつ、危険性の高い区分を採用し、区分4とした。</p> <p>ウサギのLD50値=2000mg/kg(SIDS(2008))に基づき、区分4とした。</p> <p>ラットのLD50値=>4178mg/L(SIDS(2008))(OECD TG403;GLP準拠)、ラットのLD50値=8.9mg/L(SIDS(2008)),ラットのLD50=8.84mg/L((換算値;12.5mg/L/4th)(PATY(5th,2001)))に基づき、GLP準拠のデータ>4.178mg/Lかつ危険性の高い区分(8.9mg/L)を採用しJIS分類基準の区分3とした。なお、毒性値濃度(2012ppmV)は飽和蒸気圧濃度(123.6ppmV;25°C)の90%値よりも高いので、蒸気と判断した。</p> <p>ウサギを用いた眼刺激性試験(OECD TG405)で中等度の刺激性(SIDS(2008))に基づいて区分2とした。</p>

刺激性	・ウサギの眼刺激性試験(OECD TG 405)で、中程度の刺激性(SIDS 2008)に基づき区分2とした。③
感作性	・報告なし。
発がん性	・発がん性試験(OECD TG451)の結果では、工業用ベンジルアルコールは毒性影響のない用量(ラットで400mg/kg Bw以下、マウスで200mg/kg Bw以下)で2年間の暴露によって発がん性を示す影響は認められなかったことから区分外とした。③
変異原性	・In vivo 8週齢ddyマウス、単回腹腔内投与において陰性結果(SIDS 2008)が報告されていることから区分外とした。③
慢性毒性 生殖毒性	・食品添加物として認められている。ADI(1日許容摂取量):5mg/kg/day ・ラットの4世代経口投与試験で、用量750mg/kg以下では繁殖力、授乳、発育、催奇性に影響なしとの報告があるが、仔の発生毒性に関するデータが不十分のため分類できないとした。③
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	・ラットのLD50値(経口)で用量1230mg/kg、1660mg/kg、マウスのLD50値(経口)1360mg/kg、またラット、マウスの吸入試験(RTECS 2007)において嗜眠、昏睡、運動失調などの神経毒性諸症状を示す報告があるが、リスト3のデータであるので分類できないとした。③
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	・ラットの強制経口投与試験(50,100,200,400、800mg/kg/d 13週間)において、800mg/kg/d投与群に神経毒性症状(呼吸困難、こん睡状態)が報告されており、これは区分外に該当する(SIDS 2008);IUCLID (2000)。しかし、他経路のデータがないので分類できないとした。③
吸引性呼吸器障害	・データなし。③
急性症状	吸入後 皮膚接触後 眼接触後 嚥下後
慢性症状	

12 環境衛生情報

生態毒性データ

分類	生物名	LC50(mg/l) (曝露時間)	EC50(mg/l) (曝露時間)	OECD 分類基準(案)
藻類	セネデスマス ⁸⁾	/	640(96-h)	(分類基準適用外)
甲殻類	オオミジンコ ⁸⁾	/	230(48-h)	(harmful)
魚類	ブルーギル ⁸⁾ ファットヘッドミノ ⁸⁾	10(96-h) 460(96-h)	/	toxic 分類基準適用外

濃縮性	・報告なし
分解性	・良分解(化審法) BOD ₅ 62
移行性	・揮発性有機物質 100%
他の情報	・オゾン層に影響しない(Conuncil Regulation ,EC)

13	廃棄上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・可能なら蒸留回収しリサイクルする。河川、下水等に廃棄しない。 ・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の管理基準に従う。 ・都道不県知事の認可を受けた処理施設または施設を有する業者に委託する。 ・委託する場合は危険性、有害性を十分告知の上、委託する。 ・アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で燃焼処理させる。 ・空容器を廃棄する場合は、内容物を除去し再使用するか、処理業者に廃棄を委託する。
	廃棄法	
	処理法	
	汚染容器	
14	輸送上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ADR,RID,ADNR,IMDG,ICAO に 危険物質として記載なし。 ・海洋汚染物質として記載なし。 ・消防法上の危険物に該当する。 ・製品が転落し、転倒もしくは破損しないように積載すること。 ・容器等級: I
	国際法規	
	海上規制情報	
	国内規制情報	
	その他の情報	
15	適応法令	<ul style="list-style-type: none"> ・第2条危険物第4類第3石油類非水溶性液体(2000L)該当。 ・第2条特定有害廃棄物等 ・施工令別表第1有害液体物質(C類) ・R20/22 吸入、嚥下すると有害。 ・S(O2) 子供を近づけない。 ・S26 眼に入った場合、多量の水で洗い医師の診察を受ける。 ・なし。 ・公表化学物質 ・該当しない。
	消防法	
	ハーゼル法	
	海洋汚染防止法	
	海外危険規定	
	UN 番号	
	化審法、労安法番号	
	PRTR法	
16 その他の情報	主たる用途	<ul style="list-style-type: none"> ・揮発保留剤(クリーム香料)、塗料用材、エステル製造原料、香料
	参考文献:	<ul style="list-style-type: none"> ① ACGHI ② 化学物質評価機構(CERI) 化学物質安全データ集 ③ NITE-化学物質管理分野 GHS分類 ベンジルアルコール ④ MSDS by TESSENDERLO CHIMIE ⑤, ⑥, ⑦ <ul style="list-style-type: none"> ・Drug Res.,44(1),566-570,Nr4(1994) ・NTP,Technical Report on the Toxicocology and Carcinogenesis Studies of Benzil alcohol in F344/N Rats and B6C3F1 Mice NTP TR 343(1989) ・後藤、池田、原編、産業中毒便覧・増補版、医歯薬出版(1996) ⑧ AQUIRE/NUMERICA
<p>注意: このMSDSは発行時点での情報、知識に基づいて作成されています。安全取扱い、保管、運輸、廃棄、等の指針として有用と信じておりますが、何等の保証をなすものではありません。ご使用の際は使用者自身の知識、実験、等でご確認の上ご使用ください。また必要に応じて内容が改訂されますことをご承知ください。</p>		